



09/17 (木) English Presentationに向けて

English Presentationに向けての取り組みが始まりました。

初日は、Ms.Jieyunと子どもたちで英語発表会についての話し合いです。そこで生まれたゴールが、「生活科で学んだおもちゃの作り方を使って、1年生を楽しませるお店を開く」ことでした。

Ms.Jieyunが「How many days do we have until the presentation?」と問いかけると、子どもたちから「Around 30 days!」と英語で答える声が返ってきます。そのあとは、お店を開くまでの流れを自分たちで考えました。

計画を立てるときには日本語も使いながら考えていましたが、取り組むべきことを英語で書いている (Make a plan, Decide the groupなど) 子がたくさんいて、驚きました。

一方で、英語で自分の意見を話すことに難しさを感じている子も、もちろんいます。この2クォーター後半で子どもたちに感じてほしいのは、うまく英語を話すことだけではありません。ボディランゲージでも伝わるということ、そして何より、「伝えたい」という思いが一番大切だということです。

そのために、私たち日本人教師も完璧な英語ではなく、一生懸命に伝える姿を見せていきます。子どもは大人の言うことよりも、その背中を見て育つと言われます。まずは教師自身が、その姿を示していきたいと思えます。

2クォーターの終わりには、英語を使ってお店を開けるように。この1か月は、お店で使うフレーズや、英語でのルール説明の仕方などを、子どもたち自身の手で準備していきます。

充実した英語月間になるよう、支えてまいります。ぜひご家庭でも、「今日の英語プロジェクト、どうだった?」と聞いてみてください。

